

船舶事故ハザードマップ・グローバル版の運用開始について

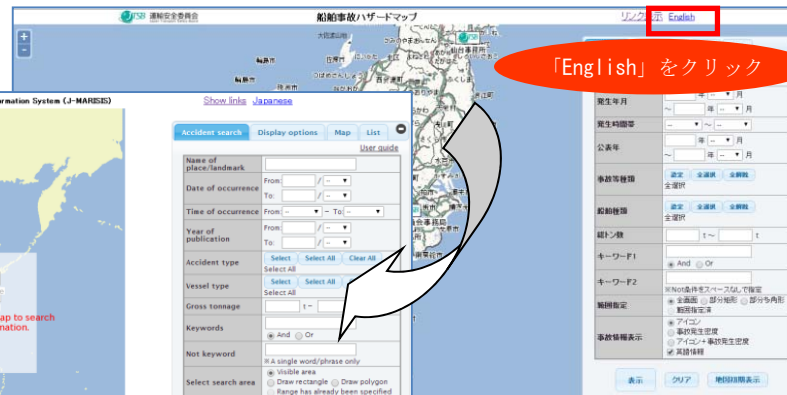
運輸安全委員会では、平成26年4月から、海外で発生した船舶事故について、当委員会が調査した報告書に加え、外国の船舶事故調査機関が公表した事故調査報告書を世界地図から探すことができる「船舶事故ハザードマップ・グローバル版」の運用を開始しました。

昨年9月にスイスで行われた欧州船舶事故調査官会議及び10月に韓国で開催された国際船舶事故調査官会議において、我が国の船舶事故ハザードマップを紹介し、賛同を得た国の事故調査機関(7か国)の協力を得て、各機関が公表している調査報告書(約400件)を閲覧できます。

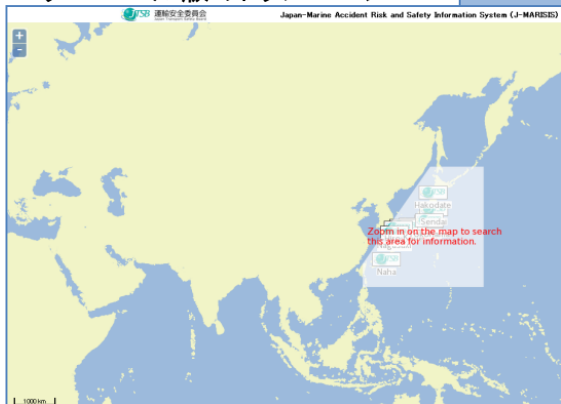


http://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/index_en.html

日本語版のトップページ



グローバル版のトップページ



協力いただいた調査機関
 ATSB (オーストラリア)
 BEAmer (フランス)
 DSB (オランダ)
 MAIB (イギリス)
 NTSB (アメリカ)
 TAIC (ニュージーランド)
 TSB (カナダ)

- ① 検索したい海域に移動して、「Search」をクリックすると事故の発生場所にマークが表示されます。
- ② 事故のマークをクリックすると吹き出しに事故の概要が表示されます。
- ③ 事故名をクリックすると調査報告書へリンクします。

